

平成24年度
実施事業

事務事業名	児童・生徒文化振興助成金
-------	--------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援
小分類	2	文化活動を担う人づくり
主要な施策	1	①文化活動との出会いの場づくり
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) 文化活動を行う児童・生徒の保護者の負担を軽減し、児童等の文化活動の向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) 児童、生徒が学校で行う文化活動で全国及び全道大会に参加する場合、その経費の一部を助成する。 (1) 助成の範囲・・・大会開催要項等に定める登録範囲以内の出場者 (2) 助成金額・・・全国大会：団体出場 対象経費の1/5以内、個人出場 対象経費の1/4以内 ※バック料金等の場合 団体出場 総額×助成金対象者/大会参加者×1/5 個人出場 総額×助成金対象者/大会参加者×1/4 全道大会：1人 3,000円。胆振管内の大会は助成対象外。 【平成24年度実績】 (1) 全国大会への助成 4回(19人) (2) 全道大会への助成 17回(185人)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 全国及び全道大会に出場する者に対し、その経費の一部を助成することによって、より大きな大会への出場も可能となり、全国大会で活躍する生徒も出てきていることから、児童・生徒の文化の向上のため今後も継続する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) 登別市児童、生徒文化振興助成金交付要綱

事業費(財源内訳)の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	428	768	800	800	800
事業費 合計			428	768	800	800	800

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 全国大会参加者数 (年度ベース、引率者含む)	人	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	8	19			
	② 北海道大会参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	111	185			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>(1) 市内の小・中学校、高校に在籍し、全国及び全道大会へ出場する児童・生徒に対し、その経費の一部を助成している。</p> <p>(2) 全国大会に出場する助成金申請者にとって、申請する際の助成金算出が困難である。</p>	<p>(1) 文化活動を行っている児童・生徒の文化活動への更なる関心を高めるとともに文化振興を図るため、本年度も引き続き支援する。</p> <p>(2) 平成25年4月以降は要綱を改正し、利便性を向上させる。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 登別市の文化力の向上のためにも出場者の負担を軽減するため、助成は必要である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 児童・生徒が全国・全道大会に出場することで質の高い文化活動を学び、登別市の文化振興に大きく寄与することから必要である。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 文化の振興や保護者の経費負担の軽減を目的としていることから適正である。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 全国及び全道大会への出場に対し、その経費の一部を助成することによって、より大きな大会への出場も可能となり、児童・生徒の文化の向上だけでなく、登別市の文化振興にも寄与している。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	学校における文化活動の取組みは活発化しており、全国・全道大会に出場する学校が増加している、学校では旅費の予算の確保に苦慮しており、本事業はこれらの大会に出場する旅費等を助成するものであり、学校での文化活動を支援するために必要である。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)